

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【公開番号】特開2011-18055(P2011-18055A)

【公開日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-179714(P2010-179714)

【国際特許分類】

G 02 B 26/10 (2006.01)

B 41 J 2/44 (2006.01)

G 02 B 13/00 (2006.01)

G 02 B 13/18 (2006.01)

H 04 N 1/113 (2006.01)

【F I】

G 02 B 26/10 F

B 41 J 3/00 D

G 02 B 13/00

G 02 B 13/18

H 04 N 1/04 104 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月6日(2012.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記した課題を解決し、第1の目的を達成するため、請求項1に記載の発明にかかる光走査装置は、光源からの光束をカップリングするカップリングレンズを有する第1の光学系と、前記第1の光学系からの光束を偏向器に導く第2の光学系と、前記偏向器により偏向される光束を被走査面上に光スポットとして集光する走査結像素子を有する第3の光学系と、を備え、前記第1の光学系、第2の光学系及び第3の光学系から形成される全光学系の主走査方向の横倍率 $|m|$ は、副走査方向の横倍率 $|s|$ よりも大きく設定されていると共に、前記第2の光学系は、副走査方向に正のパワーを有するガラス製レンズまたは副走査方向に正のパワーを有する樹脂製レンズを少なくとも含み、また、前記第3の光学系は、主走査方向にパワーを有する第1の樹脂製光学素子と、副走査方向にパワーを有する第2の樹脂製光学素子と、を備え、前記偏向器の周りの筐体上であって、かつ前記第1の樹脂製光学素子に隣接してリブが配置され、さらに、前記第1の樹脂製光学素子近傍における雰囲気での温度をT1とし、前記第2の樹脂製光学素子近傍における雰囲気での温度をT2とした場合に、 $T_1 > T_2$ の関係を満足することを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

光源からの光束をカップリングするカップリングレンズを有する第1の光学系と、前記第1の光学系からの光束を偏向器に導く第2の光学系と、

前記偏向器により偏向される光束を被走査面上に光スポットとして集光する走査結像素子を有する第3の光学系と、

を備え、

前記第1の光学系、第2の光学系及び第3の光学系から形成される全光学系の主走査方向の横倍率| m |は、副走査方向の横倍率| s |よりも大きく設定されていると共に、

前記第2の光学系は、副走査方向に正のパワーを有するガラス製レンズまたは副走査方向に正のパワーを有する樹脂製レンズを少なくとも含み、

また、前記第3の光学系は、主走査方向にパワーを有する第1の樹脂製光学素子と、副走査方向にパワーを有する第2の樹脂製光学素子と、を備え、

前記偏向器の周りの筐体上であって、かつ前記第1の樹脂製光学素子に隣接してリブが配置され、

さらに、前記第1の樹脂製光学素子近傍における雰囲気での温度をT1とし、前記第2の樹脂製光学素子近傍における雰囲気での温度をT2とした場合に、T1 > T2の関係を満足することを特徴とする光走査装置。